



426号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港  
福会館 5階

Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622

メール roren@kensu.jp

ホームページ http://www.kensu.jp/

全国検数労働組合連合  
書記局**4月12日(金) 14:00~14:30****第8回 検数労連13春闘交渉****組合は現到達をもって「收拾の時期」と判断し、妥結を表明!**

- 4月12日(金)に開催した第8回検数労連13春闘交渉において、全ての地域から『批准』または『一任』を受けた事により、組合は両協会に対し、要求との関係では不満を残すものの、現到達をもって『收拾の時期』と判断し、下記の通り妥結の態度表明を行ないました。
- 各地域から『批准』または『一任』をするにあたり次のような意見が出されました。
- 【各地域の意見】**
- 主な評価点**
- ① 13春闘で港湾相場を確保したことは評価できる。
  - ② 分母の前進は交渉の成果であり、評価できる。
  - ③ 全検での上積み修正については評価できる。
  - ④ 日検での計画的な定昇実施には評価できる。
  - ⑤ 全検での職員A・B者の賃金統一に向けた『検討委員会』設置は評価できる。
  - ⑥ 日検での初任給が引き上げられたことには評価できる。
- 主な不満点**
- ① 両協会ともに主体性をもって有額回答指定日に回答するべき。
  - ② 両協会ともに要求に対する回答額が低額であり不満。
  - ③ 両協会ともに現場の声をよく聞いたうえで、料金收受に向けた取り組みを求める。

## 2013年春闘の態度表明にあたり

全国検数労働組合連合  
中央闘争委員会

1. 13春闘の態度表明にあたり、4月12日午前中までに各地域の意見を集約し、全地域から批准を受け、13春闘要求については要求額との関係で不満は残るものの現到達をもって「收拾の時期」と判断し、妥結を表明する。
2. 13春闘は日本経済の深刻なデフレ不況などから脱却するために、安倍政権が「アベノミクス」なる金融政策、財政政策、成長戦略の「3本の矢」からなる経済政策を打出し、物価上昇率2%以上を目標にした経済成長の実現に向けて、首相自らが経済団体に対して従業員の賃金の引き上げを要請した。こうした状況のもとで、今春闘は賃金の大幅な引き上げこそ経済政策に合致するもとの春闘であった。
3. 13港湾春闘では、10・11・12春闘協定同様、引き続き「日港協は適正料金の收受および適正コストの支払いについて、元請事業者に対し一層の指導等周知・徹底を図る」とした産別協定が締結された。  
組合は「適正料金收受」の環境については、ここ数年間の春闘協定により厳しい情勢のもとでも一定環境が整っていると認識しており、検数両協会の特段の取り組みを求める。
4. 組合は、検数業界を取り巻く厳しい経営環境については百も承知している。両協会は協会組織機構の強化を図るために技能継承に向けた人材育成等を積極的に取り組んでいることは、組合方針である「仕事と収入の確保」運動と合致する部分となっている。  
今春闘においては、全地区で支部労使による「職場懇談会」を開催し、協会を取り巻く状況などの報告を受け、特に人材育成や検数事故防止、安全問題に対する議論をしてきたところである。そして、検数業が果たしている役割をしっかりと労使共通認識としていくことが将来にわたり安定した企業への最大の近道であることを職場懇談会の中で協会に対して切望してきた。
5. 上記を踏まえたうえで今後、安定した賃上げの実施と産別協定履行などの課題が多々残されており、引き続き、議論を蓄積させ、前進させるべく真摯な労使協議の実施を求める。あわせて、全従業員が協会を取り巻く現状を正しく理解するためにも組合方針である「仕事と収入の確保」運動と両協会が取り組んでいる「品質向上」をリンクさせながら「職場懇談会」を通年課題と位置づけて取り組むよう求める。

以上